

独自分析レポート

**住宅・不動産業 主要10社
過去3年における決算まとめ**

ヒューマンリソシア株式会社
「建設HR」編集部



目次

はじめに … 3

2019年度3月期決算 … 4

2020年度3月期決算 … 6

2021年度3月期決算 … 11

はじめに

「建設HR」編集部では、建設業界に特化した人材動向／市場動向／未来予測などの調査・分析から、独自調査レポートやマンスリーレポート、建設DXの最新ソリューションを紹介するセミナーなど、建設業界に関わるさまざまな情報発信を行っています。

本レポートでは、住宅・不動産の主要上場企業各10社の過去3年分の決算資料（決算短信）から建設市場動向をまとめました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、建設業関連各社の決算はどのように推移しているのか、来期（2022年3月期）についてはどのような状況になるのか、検討する参考資料としてご利用いただければ幸いです。

2019年度3月期決算

<住宅・不動産業> 2019年度3月期決算概況

■ 10社中4社が増収増益も、6社が減益

住宅建設業主要10社の2019年3月期決算は、大和ハウス工業、ミサワホーム、フジ住宅、ミサワホーム中国の4社が増収増益となりました（＝図表1）。特に業界トップの大和ハウス工業は売上高、経常利益ともに過去最高を記録し、業界の成長を牽引しています。ただし、経常利益を見ると6社が減益、うち2社が赤字となっており、利益面では厳しい決算の企業も多くなっています。

2020年3月期の業績予想については、大和ハウス工業、飯田グループホールディングス、積水化学工業、サンヨーホームズ、アールシーコアの5社が増収増益と予想する一方、2社が減収減益を見込むなど、企業により明暗が分かれています。

【図表1 住宅・不動産業10社の2019年3月期（連結）の実績と2020年3月期の予想値】

企業名	2019年3月期					2020年3月期業績予想			
	売上高 (百万円)	前期比	経常利益 (百万円)	前期比	傾向	売上高 (百万円)	前期比	経常利益 (百万円)	前期比
大和ハウス工業	4,143,505	109.2%	359,462	104.3%	増収増益	4,250,000	102.6%	376,000	104.6%
飯田グループホールディングス	1,344,987	100.7%	94,123	93.8%	増収減益	1,370,000	101.9%	96,000	102.0%
住友林業	1,308,893	107.1%	51,436	88.9%	増収減益	1,123,000	85.8%	57,000	110.8%
積水化学工業	1,142,713	103.2%	93,146	99.2%	増収減益	1,175,000	102.8%	100,000	107.4%
ミサワホーム	399,347	102.8%	9,114	118.8%	増収増益	-	-	-	-
フジ住宅	115,710	111.4%	6,445	105.0%	増収増益	107,000	92.5%	5,000	77.6%
サンヨーホームズ	53,888	99.6%	1,544	80.8%	減収減益	69,850	129.6%	1,910	123.7%
ミサワホーム中国	29,473	106.8%	467	224.2%	増収増益	26,450	89.7%	200	42.8%
細田工務店	22,100	116.2%	-612	-	増収減益	20,379	92.2%	215	-
アールシーコア	12,397	92.0%	-680	-	減収減益	19,000	153.3%	280	-

※ミサワホームの普通株式は、2019年12月30日付で上場廃止となる予定であるため、2020年3月期の連結業績予想を開示なし

2020年度3月期決算

<住宅・不動産業> 2020年度3月期第1四半期決算概況

■ 増収増益は10社中3社にとどまる 6社が減益であり厳しい決算結果となる

大和ハウス工業、ミサワホーム、ミサワホーム中国の3社が増収増益となりました（=図表2）。一方、飯田グループホールディングス、フジ住宅、サンヨーホームズ、細田工務店の4社が減収減益になるなど、6社は減益となっています。

ミサワホームとミサワホーム中国は増益ながら赤字決算となり、サンヨーホームズ、細田工務店、アールシーコアの3社は減益で赤字決算となっています。主要10社の合計においては、業界トップの大和ハウス工業が好調である影響を受けて増収増益となっていますが、業界全体としては厳しい決算になっています。

【図表2 住宅・不動産業主要10社の2020年3月期第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第1四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
大和ハウス工業	1,017,936	112.8%	92,399	122.7%	93,429	121.2%	65,068	124.2%	増収増益
飯田グループホールディングス	299,169	97.2%	20,242	84.9%	19,112	82.2%	12,738	80.3%	減収減益
積水化学工業	249,655	103.2%	10,829	114.9%	11,372	97.3%	2,951	38.8%	増収減益
住友林業	235,009	94.3%	4,512	-	4,979	-	565	-	減収増益
ミサワホーム	69,973	108.8%	-4,562	-	-4,487	-	-4,564	-	増収増益
フジ住宅	23,906	89.2%	988	72.0%	947	66.3%	627	65.8%	減収減益
サンヨーホームズ	7,738	90.5%	-890	-	-895	-	-644	-	減収減益
ミサワホーム中国	4,632	117.1%	-274	-	-262	-	-194	-	増収増益
細田工務店	3,479	76.4%	-224	-	-268	-	-271	-	減収減益
アールシーコア	3,018	114.7%	-411	-	-424	-	-388	-	増収減益
合計	1,914,515	105.6%	122,609	124.1%	123,503	119.4%	75,888	113.9%	増収増益

<住宅・不動産業> 2020年度3月期第2四半期決算概況

■ 10社中4社が増収増益、赤字決算企業は減少し業績はやや改善

大和ハウス工業、ミサワホーム、サンヨーホームズ、ミサワホーム中国の4社が増収増益となりました（=図表3）。業界2位の飯田グループホールディングスは、第1四半期は減収でしたが、第2四半期については増収に転じ、減益幅も縮小しています。

増収企業数は第1四半期の5社から7社に増加、赤字決算企業数は5社から2社に減少しており、全体的にやや改善してきています。なお、業界トップの大和ハウス工業の住宅建設における業績を見ると、戸建てが売上高239,665百万円で前年同期比1.5%増となった一方、賃貸住宅が503,219百万円で同4.3%減となっており、住宅建設関連の売上高はやや伸び悩んでいます。

【図表3 住宅・不動産業主要10社の2020年3月期第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第2四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
大和ハウス工業	2,179,389	9.9%	209,324	10.4%	207,910	8.4%	147,390	12.1%	増収増益
飯田グループホールディングス	657,075	4.6%	47,020	-1.7%		#DIV/0!	30,454	-4.6%	増収減益
積水化学工業	556,515	0.3%	41,497	-1.6%	42,122	-8.2%	29,633	-9.0%	増収減益
住友林業	529,748	-10.6%	24,992	44.4%	25,689	37.2%	12,591	18.4%	減収増益
ミサワホーム	209,317	11.0%	5,017	81.3%	5,250	79.7%	3,062	20.3%	増収増益
フジ住宅	51,136	-4.3%	2,148	-17.4%	1,999	-22.0%	1,287	-24.6%	減収減益
サンヨーホームズ	23,782	16.4%	143	-	109	-	34	-	増収増益
ミサワホーム中国	13,194	26.5%	50	-	75	-	45	-	増収増益
細田工務店	8,731	-7.9%	-157	-	-258	-	-266	-	減収減益
アールシーコア	8,152	38.7%	-212	-	-205	-	-257	-	増収減益
合計	4,237,039	4.7%	329,822	9.6%	282,691	8.5%	223,973	6.8%	増収増益

* サンヨーホームズの前年同四半期の純利益は▲344百万円、ミサワホーム中国は同▲320百万円、細田工務店は同▲217百万円、アールシーコアは同▲216百万円

<住宅・不動産業> 2020年度3月期第3四半期決算概況

■ ■ 増収増益は1社のみ、厳しい決算となる

増収増益は業界トップの大和ハウス工業のみで、4社が赤字決算となる厳しい結果となりました（=図表4）。業界全体では増収増益となっていますが、これは大和ハウス工業の売上高・利益の金額が大きいため、同社を除いて売上高と純利益を集計すると、減収減益となります。

また、大和ハウス工業の住宅建設における売上高を見ると、戸建て住宅が3,536億円で前年同期比0.4%減、賃貸住宅が7,407億円で同4.8%減となり、住宅建設業の経営環境は厳しいと考えられます。

【図表4 住宅・不動産業主要10社の2020年3月期第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第3四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
大和ハウス工業	3,163,355	7.2%	289,697	8.1%	288,295	6.4%	195,695	6.2%	増収増益
飯田グループホールディングス	969,076	2.3%	65,261	-9.5%	63,108	-9.8%	42,870	-10.7%	増収減益
住友林業	802,741	-11.5%	38,263	55.2%	43,070	59.6%	22,614	40.5%	減収増益
積水化学工業	823,307	-0.7%	58,197	-2.2%	59,534	0.4%	40,090	-4.5%	減収減益
ミサワホーム(上場廃止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フジ住宅	77,320	-3.2%	3,224	-17.3%	2,987	-20.4%	1,980	-19.3%	減収減益
サンヨーホームズ	32,242	2.3%	-691	-	-758	-	-582	-	増収赤字幅拡大
ミサワホーム中国	18,618	23.6%	-92	-	-55	-	-64	-	増収赤字幅縮小
細田工務店	12,678	-12.1%	-281	-	-428	-	-443	-	減収赤字幅拡大
アールシーコア	12,559	46.3%	-199	-	-204	-	-223	-	増収赤字幅縮小
合計	5,911,896	2.2%	453,379	6.4%	455,549	6.3%	301,937	3.8%	増収増益

- * サンヨーホームズの前年同期の営業利益は572百万円、経常利益は▲634百万円、純利益は▲494百万円
- * ミサワホーム中国の前年同期の営業利益は▲692百万円、経常利益は▲637百万円、純利益は▲516百万円
- * 細田工務店の前年同期の営業利益は▲117百万円、経常利益は▲339百万円、純利益は▲352百万円、
- * アールシーコアの前年同期の営業利益は▲780百万円、経常利益は▲780百万円、純利益は▲536百万円
- * ミサワホームはトヨタホームの完全子会社となり2019年12月30日に上場廃止

<住宅・不動産> 2020年度3月期決算概況

■ 7社が増収、4社が増収増益となり堅調な決算、2021年3月期については減収減益の予想

売上高は7社が前年を上回り、4社が増収増益となっています（=図表5）。10社合計の売上高は前期比1.2%増、営業利益は同2.5%増、経常利益は同2.2%増、純利益は同2.0%増となっており、住宅・不動産業界は堅調な決算であったと言えます。

2021年3月期の業績予想を発表した6社はすべて減収減益の予想になっています（=図表6）。大和ハウス工業、三菱地所、住友不動産の3社では売上高を二ケタの減収と予想しており、新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与えるマイナスの影響は大きくなりそうです。

【図表5 住宅・不動産業主要10社の2020年3月期（連結）の実績】

企業名	2020年3月期								傾向
	売上高 (百万円)	前年同期 増減率	営業利益 (百万円)	前年同期 増減率	経常利益 (百万円)	前年同期 増減率	純利益 (百万円)	前年同期 増減率	
大和ハウス工業	4,380,209	5.7%	381,114	2.4%	367,669	2.3%	233,603	-1.6%	増収減益
三井不動産	1,905,642	2.4%	280,617	7.0%	258,510	1.7%	183,972	9.1%	増収増益
大東建託	1,586,293	-0.3%	127,956	0.7%	133,028	0.6%	90,380	0.5%	減収増益
飯田グループホールディングス	1,402,019	4.2%	83,513	-14.0%	78,766	-16.3%	53,752	-17.9%	増収減益
三菱地所	1,302,196	3.1%	240,768	5.1%	219,572	6.3%	148,451	10.3%	増収増益
積水化学工業	1,129,254	-1.2%	87,768	-8.3%	86,996	-6.6%	58,931	-10.8%	減収減益
住友林業	1,104,094	-15.6%	51,377	4.3%	58,824	14.4%	27,853	-4.5%	減収減益
住友不動産	1,013,512	0.1%	234,332	6.8%	220,520	8.5%	140,997	8.4%	増収増益
野村不動産ホールディングス	676,495	1.2%	81,905	3.5%	73,077	5.4%	48,886	6.6%	増収増益
スターツコーポレーション	209,091	7.1%	23,912	4.8%	24,122	0.5%	15,059	-1.3%	増収減益
合計	14,708,805	1.2%	1,593,262	2.5%	1,521,084	2.2%	1,001,884	2.0%	増収増益

【図表6 住宅・不動産業主要10社の2021年3月期（連結）の業績予想】

企業名	2021年3月期の業績予想					
	売上高	前期比	営業利益	前期比	純利益	前期比
大和ハウス工業	3,650,000	-16.7%	170,000	-55.4%	105,000	-55.1%
三井不動産	1,850,000	-2.9%	200,000	-28.7%	120,000	-34.8%
大東建託			-			
飯田グループホールディング			-			
三菱地所	1,142,000	-12.3%	185,000	-23.2%	110,000	-25.9%
積水化学工業	1,107,400	-1.9%	70,000	-20.2%	43,500	-26.2%
住友林業			-			
住友不動産	880,000	-13.2%	204,000	-12.9%	130,000	-7.8%
野村不動産ホールディングス			-			
スターツコーポレーション	190,000	-9.1%	15,500	-35.2%	10,000	-33.6%

※「-」は未定

2021年度3月期決算

<住宅・不動産業> 2021年度3月期第1四半期決算概況

■ 6社が減収、うち4社が減収減益、10社合計でも減収減益

売上高は6社が前年同期を下回り、このうち4社が減収・純減益となっています（=図表7）。10社合計の売上高は前年同期比5.22%減、営業利益は同12.1%減、経常利益は同14.0%減、純利益は同18.3%減となり、厳しい決算となりました。

2021年3月期の業績予想を発表した6社はすべて減収・純減益の予想になっています（図表⑩）。特に純利益については減少率が大きく、利益面では特に厳しい経営環境になると思われます。

【図表7 住宅・不動産業主要10社の2021年3月期第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第1四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	
大和ハウス工業	892,981	-12.3%	61,468	-33.5%	61,415	-34.3%	32,933	-49.4%	減収減益
三井不動産	407,025	-4.7%	36,861	-27.6%	29,703	-39.8%	13,770	-58.5%	減収減益
大東建託	355,286	-3.4%	23,627	-15.3%	24,472	-17.2%	16,579	-18.7%	減収減益
飯田グループホールディングス	321,971	7.6%	15,743	-22.2%	16,182	-15.3%	10,939	-14.1%	増収減益
住友不動産	315,959	-5.5%	82,762	1.7%	84,057	3.1%	65,488	17.3%	減収増益
三菱地所	257,481	-3.2%	54,228	15.7%	51,331	16.7%	29,263	10.8%	減収増益
積水化学工業	214,751	-14.0%	1,352	-87.5%	756	-93.3%	-526	-	減収減益
野村不動産ホールディングス	136,486	21.4%	17,900	196.1%	15,417	282.7%	8,833	196.9%	増収増益
スターツコーポレーション	46,525	11.5%	4,377	2.9%	4,363	10.0%	3,129	27.4%	増収増益
タカラレーベン	15,717	28.9%	-194	-	-273	-	-296	-	増収赤字幅縮小
合計	2,964,182	-5.2%	298,124	-12.1%	287,423	-14.0%	180,112	-18.3%	減収減益

<住宅・不動産業> 2021年度3月期第2四半期決算概況

■ 8社が減収、6社が減収減益、10社合計では第1四半期よりも売上高、純利益ともに悪化

売上高は8社が前年同四半期を下回り、うち6社が減収減益となっています（=図表8）。10社合計の売上高は前年同四半期比6.5%減（第1四半期は5.2%減）、純利益は同26.5%減（第1四半期は18.3%減）となっており、第1四半期よりも売上高、純利益ともに悪化しています。

【図表8 住宅・不動産業主要10社の2021年3月期第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第2四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	
大和ハウス工業	1,966,448	-9.8%	156,024	-25.5%	150,466	-27.6%	91,329	-38.0%	減収減益
三井不動産	797,401	-10.3%	64,189	-45.9%	47,288	-56.1%	9,040	-86.4%	減収減益
飯田グループホールディングス	738,320	12.4%	52,647	12.0%	51,275	13.6%	34,728	14.0%	増収増益
大東建託	734,942	-4.6%	51,758	-13.7%	54,053	-13.6%	36,933	-13.9%	減収減益
三菱地所	527,312	-1.5%	98,072	6.3%	91,618	13.0%	50,939	6.0%	減収増益
住友不動産	515,122	-11.1%	132,847	-3.4%	129,541	-1.7%	97,131	4.2%	減収増益
積水化学工業	490,041	-11.9%	22,149	-46.6%	20,417	-51.5%	12,690	-57.2%	減収減益
野村不動産ホールディングス	223,935	-9.3%	24,187	11.5%	19,429	8.9%	12,030	-3.5%	減収減益
スターツコーポレーション	94,027	2.5%	9,557	-4.9%	9,606	-4.1%	6,628	-1.6%	増収減益
タカラレーベン	51,581	-11.1%	1,853	-52.2%	1,620	-52.5%	893	-60.5%	減収減益
合計	6,139,129	-6.5%	613,283	-17.3%	575,313	-18.9%	352,341	-26.5%	減収減益

<住宅・不動産業> 2021年度3月期第3四半期決算概況

■ 10社合計では第2四半期よりも売上高、純利益ともに改善

売上高は6社が前年同四半期を下回り、うち4社が減収減益となっています（=図表9）。10社合計の売上高は前年同四半期比▲0.3%（第2四半期は▲6.5%）、純利益は同▲4.1%（同▲26.5%）となっており、第2四半期よりも売上高、純利益ともに改善しています。

2021年3月期の通期業績予想は、三菱地所とタカラレーベンが売上高、純利益ともに上方修正、積水化学工業が売上高を上方修正、野村不動産ホールディングスが売上高を下方修正、純利益を上方修正しています。

【図表9 住宅・不動産業主要10社の2021年3月期第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第3四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	傾向
大和ハウス工業	3,004,181	-5.0%	251,082	-13.3%	245,264	-14.9%	155,272	-20.7%	減収減益
三井不動産	1,468,035	13.3%	164,444	-3.5%	143,268	-8.5%	98,886	-3.3%	増収減益
大東建託	1,109,234	-3.2%	77,824	-12.1%	81,052	-12.2%	55,927	-11.3%	減収減益
飯田グループホールディングス	1,101,832	13.7%	86,758	32.9%	84,861	34.5%	57,471	34.1%	増収増益
三菱地所	777,883	-6.0%	139,477	-6.7%	139,465	3.9%	88,782	2.5%	減収増益
積水化学工業	756,422	-8.1%	39,876	-31.5%	33,830	-43.2%	20,656	-48.5%	減収減益
住友不動産	705,852	-8.1%	179,425	-2.6%	174,912	-0.5%	128,352	13.7%	減収増益
野村不動産ホールディングス	373,361	12.6%	47,515	68.6%	40,050	82.6%	25,962	77.1%	増収増益
スターツコーポレーション	143,248	2.1%	15,463	-0.2%	15,507	-0.8%	10,464	-0.5%	増収減益
タカラレーベン	88,271	-8.9%	5,337	-13.6%	4,823	-14.9%	3,137	-18.6%	減収減益
合計	9,528,319	-0.3%	1,007,201	-4.6%	963,032	-4.9%	644,909	-4.1%	減収減益

<住宅・不動産業> 2021年度3月期決算概況

■ 8社が減収、6社が減収減益、10社合計で売上高4.2%減、純利益13.1%減の厳しい決算

2021年3月期の決算は8社が減収、うち6社が減収減益となりました（＝図表10）。10社合計でも売上高が前期比4.2%減、営業利益は同10.6%減、経常利益は同11.8%減、純利益は同13.1%減と厳しい決算となっています。増収増益は飯田グループホールディングスのみでした。

【図表10 住宅・不動産業主要10社の2021年3月期（連結）の実績】

企業名	2021年3月期								
	売上高 (百万円)	前期比 増減率	営業利益 (百万円)	前期比 増減率	経常利益 (百万円)	前期比 増減率	純利益 (百万円)	前期比 増減率	傾向
大和ハウス工業	4,126,769	-5.8%	357,121	-6.3%	337,830	-8.1%	195,076	-16.5%	減収減益
三井不動産	2,007,554	5.3%	203,770	-27.4%	168,865	-34.7%	129,576	-29.6%	増収減益
大東建託	1,488,915	-6.1%	86,738	-32.2%	90,607	-31.9%	62,285	-31.1%	減収減益
飯田グループホールディングス	1,456,199	3.9%	121,263	45.2%	119,685	51.9%	83,316	55.0%	増収増益
三菱地所	1,207,594	-7.3%	224,394	-6.8%	210,965	-3.9%	135,655	-8.6%	減収減益
積水化学工業	1,056,560	-6.4%	67,300	-23.5%	62,649	-28.2%	41,544	-29.8%	減収減益
住友不動産	917,472	-9.5%	219,244	-6.4%	209,949	-4.8%	141,389	0.3%	減収増益
野村不動産ホールディングス	580,660	-14.2%	76,333	-6.8%	65,965	-9.7%	42,198	-13.7%	減収減益
スターツコーポレーション	198,963	-4.8%	22,068	-7.7%	23,323	-3.3%	15,599	3.6%	減収増益
タカラレーベン	148,397	-11.9%	10,789	-9.3%	9,933	-11.3%	4,693	-12.5%	減収減益
合計	13,189,083	-4.2%	1,389,020	-10.6%	1,299,771	-11.8%	851,331	-13.1%	減収減益

■ 10社合計で売上高5.4%増、純利益11.3%増と好調な業績を予想

2022年3月期の業績予想は10社中9社が増収増益となっています（＝図表11）。10社合計で売上高が前期比5.4%増、営業利益は同3.6%増、経常利益は同5.5%増、純利益は同11.3%増であり、売上、利益ともに好調な業績を予想しています。住宅市場は人口減少を背景に基本的に縮小傾向だと考えられますが、低金利体制の継続、住宅ローン減税の再延長等の政府による住宅取得支援策等を背景に、需要は底堅いという見方がされているようです。

【図表11 住宅・不動産業主要10社の2022年3月期（連結）の業績予想】

企業名	2022年3月期の業績予想								
	売上高 (百万円)	前期比 増減率	営業利益(百 万円)	前期比 増減率	経常利益 (百万円)	前期比 増減率	純利益 (百万円)	前期比 増減率	
大和ハウス工業	4,300,000	4.2%	320,000	-10.4%	316,000	-6.5%	215,000	10.2%	
三井不動産	2,150,000	7.1%	230,000	12.9%	205,000	21.4%	160,000	23.5%	
大東建託	1,570,000	5.4%	94,000	8.4%	97,000	7.1%	65,000	4.4%	
飯田グループホールディングス	1,470,000	0.9%	128,000	5.6%	125,000	4.4%	86,000	3.2%	
三菱地所	1,326,000	9.8%	245,000	9.2%	220,000	4.3%	142,000	4.7%	
積水化学工業	1,132,600	7.2%	86,000	27.8%	86,000	37.3%	60,000	44.4%	
住友不動産	920,000	0.3%	228,000	4.0%	221,000	5.3%	150,000	6.1%	
野村不動産ホールディングス	680,000	17.1%	77,000	0.9%	72,500	9.9%	49,500	17.3%	
スターツコーポレーション	195,000	-2.0%	22,500	2.0%	22,300	-4.4%	15,200	-2.6%	
タカラレーベン	158,600	6.9%	7,900	-26.8%	7,100	-28.5%	4,800	2.3%	
合計	13,902,200	5.4%	1,438,400	3.6%	1,371,900	5.5%	947,500	11.3%	

※「収益認識に関する会計基準」などを適用するため業績予想の対前期増減率を公表していないスターツコーポレーション、タカラレーベンについても単純計算で対前期増減率を記載している

<お問い合わせ先>

ヒューマンリソシア株式会社

「建設HR」編集部 E-mail : hrouken@athuman.com

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア1階

URL : <https://kensetsu-hr.resocia.jp/>